

東証プライム 4631

DIC株式会社

2023年度決算説明資料

2024年2月



DIC株式会社

ハイライト

2023年の振り返り

売上高

10,387億円

前年同期比 Δ 1.5%

営業利益

179億円

前年同期比 Δ 54.8%

親会社株主に帰属 する当期純利益

Δ **399**億円

前年同期比 **赤字化**

2024年の見通し

増収増益

配当は100円

- カラー & ディスプレイの顔料製品、ファンクショナルプロダクツの電気・電子やディスプレイを中心とするデジタル分野の製品やモビリティを中心とするインダストリアル分野（※）の製品の出荷数量が減少した
※インダストリアル分野とは、自動車、鉄道、船舶などのモビリティ用途と建設機械、産業機械などの一般工業用途に係る製品分野の総称
- デジタルやモビリティに関連した高付加価値製品の出荷数量が減少したことに加え、顔料製品の在庫削減のため、米国と欧州の一部の生産拠点を一時的に稼働停止したことにより、大幅な減益
- 2021年に買収したC&E顔料事業ののれんに係る減損損失197億円を計上するなど、特別損失の大幅な増加により赤字化
- 売上高1兆1,000億円、営業利益300億円、親会社株主に帰属する当期純利益100億円を計画
- 2024年度より年間配当100円を下限とする配当方針を導入

当社グループの決算期は、海外子会社・国内会社ともに1月1日から12月31日までの12ヶ月を連結対象期間としています。当期は、2023年1月1日から12月31日までの12ヶ月間を連結対象期間として記載しています。

業績と見通し概要

- 買収事業の合理化とシナジー追求を推進し、業績の早期改善を図る
- 早期かつ確実に成果を得られる施策を絞り込み、メリハリのある経営資源配分を徹底
- 2024年以降3年間をかけ事業ポートフォリオ変革を推進するとともに、資産圧縮によりキャッシュを創出
- 企業価値の向上と持続的な成長および財務健全性の維持という観点からキャッシュ・アロケーション方針を策定
- 2024年度より、年間配当100円を下限とする配当方針を導入

(億円)	2022	2023	2024 見通し
売上高	10,542	10,387	11,000
営業利益	397	179	300
親会社株主に帰属する当期純利益	176	△399	100
年間配当/株 (円)	100.0	80.0	100.0

長期経営計画「DIC Vision 2030」の2025年度を最終年度とするPhase1の営業利益計画を見直し*

当初計画800億円 ▶ 今回計画400億円

2026年度の見通しを500~600億円とし、過去最高益（2017年度565億円）更新を目指す

* 2024年2月13日発表「長期経営計画『DIC Vision 2030』のPhase1計画値の見直し」

セグメント別 主要製品の四半期出荷数量の前年同期比推移

パッケージング & グラフィック (パッケージ用インキ、出版用インキ※)

2022年				2023年			
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
+0%	△0%	△4%	△9%	△8%	△10%	△8%	△4%

- 物価上昇の影響を受け消費財の需要が低調となり、2022年7-9月以降、出荷数量が停滞
- 中国では新規顧客の開拓により、年間では前年を上回る出荷数量を達成

※新聞インキを含む

カラー & ディスプレイ (顔料製品※)

2022年				2023年			
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
△5%	△11%	△19%	△28%	△18%	△17%	△11%	△9%

- 欧州や米国において需要の低迷が続いていたが、顧客の在庫調整が進み、当社の受注状況は改善しつつある

※2022年の前年同期比の計算からはC&Eを除外しているが、2023年からは計算に含めている

ファンクショナルプロダクト (パフォーマンスマテリアル製品※)

2022年				2023年			
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
△6%	△6%	△5%	△10%	△15%	△10%	△4%	0%

- モビリティに関連した製品は、サプライチェーン上の余剰在庫の解消が進み、出荷数量が回復しつつある
- 電気・電子やディスプレイを中心とするデジタル分野は、出荷数量の減少は底を打ったと見られるが、本格的な回復には時間を要する見通し

※上場子会社と2022年7月に買収した広東TOD社、2023年6月に買収したPCAS Canada社の数量は除外

連結損益計算書

(億円)	2022	2023	増 減	増減比	現地通貨ベース 増減比
売上高	10,542	10,387	△ 155	△1.5%	△5.1%
売上原価	△ 8,550	△ 8,524	26		
販売費及び一般管理費	△ 1,595	△ 1,684	△ 89		
営業利益	397	179	△ 217	△54.8%	△51.0%
営業利益率	3.8%	1.7%	-		
金融収支	△ 25	△ 52	△ 27		
持分法投資損益	24	27	4		
為替差損益	8	△ 42	△ 49		
その他	△ 3	△ 21	△ 18		
経常利益	399	92	△ 307	△76.9%	
特別利益	28	49	21		
特別損失	△ 76	△ 406	△ 330		
税前利益	352	△ 265	△ 616		
法人税等	△ 165	△ 124	41		
当期純利益	186	△ 389	△ 575		
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 10	△ 10	0		
親会社株主に帰属する当期純利益	176	△ 399	△ 575	赤字化	
EBITDA*	855	308	△ 546	△63.9%	

特別損益の内訳	2022	2023
特別利益		
投資有価証券売却益	4	27
固定資産売却益	10	19
受取保険金	3	3
受取和解金	11	-
特別損失		
減損損失	△ 11	△ 335
リストラ関連退職損失	△ 35	△ 43
固定資産処分損	△ 24	△ 26
事業撤退損失引当金繰入額	-	△ 2
事業撤退損	△ 6	-

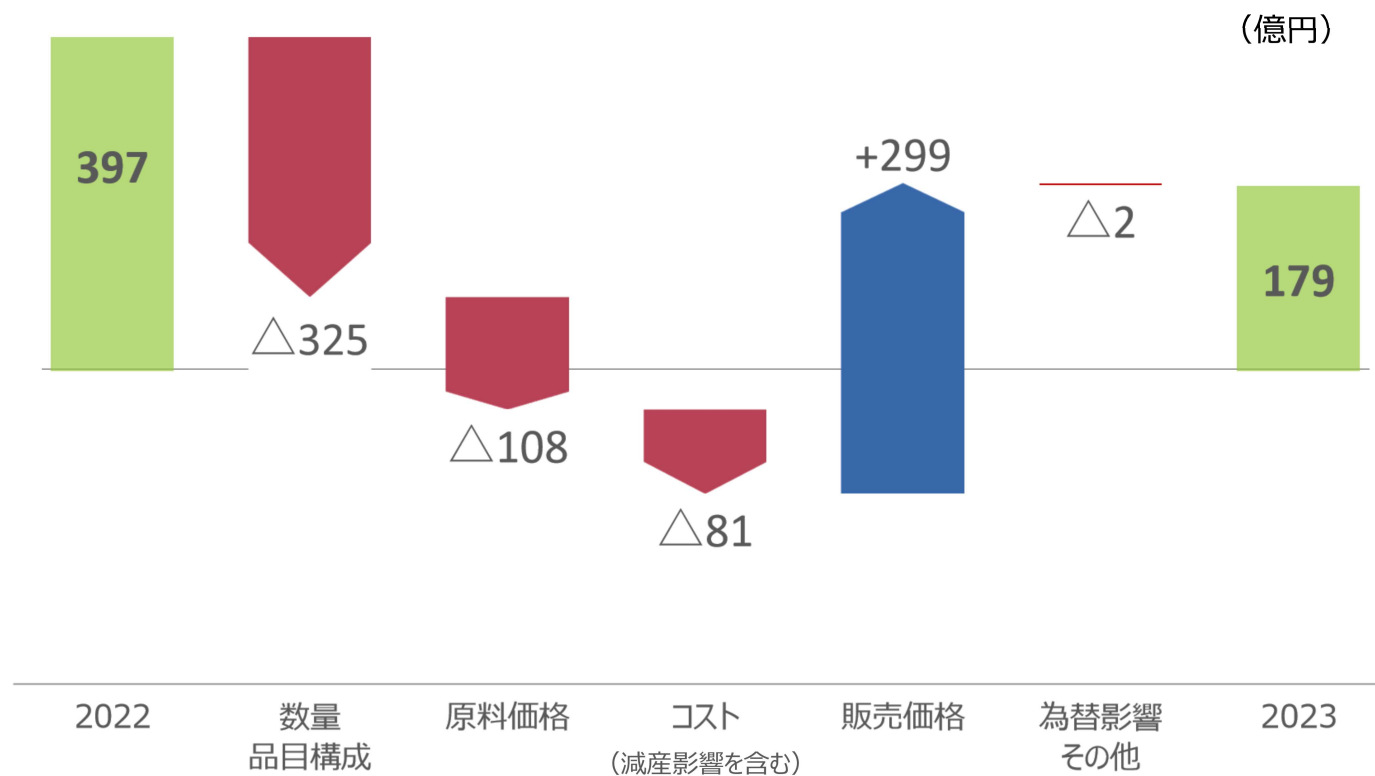
■平均レート

	2022	2023
USD/円	130.59	140.51
EUR/円	137.71	151.98

*EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

営業利益増減要因

- 顔料製品の出荷数量が主要市場である欧州の景気停滞により大幅に減少した。出荷の低迷が続く顔料製品の在庫削減のため、米国と欧州の一部の生産拠点を一時的に稼働停止したことにより、大幅な減益



財務体質

- 欧米での在庫削減により営業キャッシュフローは大幅に改善
- 前期末よりもネット有利子負債を削減したが、当期純利益の赤字化により自己資本が減少したためネットD/Eレシオは悪化
- 格付A格を維持する財務運営方針のもと、資産圧縮により創出したキャッシュも活用し財務体質の健全化を進める

(億円)	2022 期末	2023 期末	増減
ネット有利子負債	4,459	4,414	△ 45
自己資本	3,870	3,639	△ 231
ネットD/Eレシオ *1	1.15倍	1.21倍	
自己資本比率	30.7%	29.2%	
1株当たり純資産 (円)	4,088.60	3,844.70	
ROIC*2	3.6%	1.5%	

■ 期末レート

	2022 期末	2023 期末
USD/円	132.63	141.32

*1 ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債／自己資本

*2 ROIC：営業利益×（1-実効税率28%） / （ネット有利子負債＋純資産）

セグメント別業績

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2022	2023	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022	2023	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022	2023
パッケージング&グラフィック	5,330	5,419	89	+ 1.7%	△1.9%	203	220	16	+ 8.1%	+ 11.4%	3.8%	4.1%
日本	1,277	1,240	△ 37	△2.9%	△2.9%	42	46	4	+ 9.0%	+ 9.0%	3.3%	3.7%
米州・欧州	3,374	3,490	116	+ 3.4%	△1.5%	127	131	4	+ 3.4%	+ 9.5%	3.8%	3.8%
アジア他	841	825	△ 16	△2.0%	△5.5%	34	42	7	+ 21.7%	+ 19.0%	4.1%	5.1%
連結調整	△ 162	△ 135	27	-	-	△ 0	1	1	-	-	-	-
カラー&ディスプレイ	2,482	2,273	△ 209	△8.4%	△14.1%	51	△ 89	△ 140	赤字化	赤字化	2.1%	-
日本	347	320	△ 27	△7.8%	△7.8%	47	41	△ 6	△13.2%	△13.2%	13.5%	12.8%
海外	2,271	2,095	△ 177	△7.8%	△14.2%	3	△ 130	△ 133	赤字化	赤字化	0.1%	-
連結調整	△ 137	△ 142	△ 6	-	-	1	0	△ 1	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクト	3,154	3,059	△ 95	△3.0%	△5.0%	236	154	△ 82	△34.6%	△36.4%	7.5%	5.0%
日本	2,169	2,029	△ 140	△6.5%	△6.5%	147	70	△ 77	△52.7%	△52.7%	6.8%	3.4%
海外	1,288	1,302	14	+ 1.1%	△3.8%	89	85	△ 5	△5.1%	△10.9%	6.9%	6.5%
連結調整	△ 303	△ 272	31	-	-	△ 0	0	0	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 424	△ 364	60	-	-	△ 94	△ 106	△ 12	-	-	-	-
連結合計	10,542	10,387	△ 155	△1.5%	△5.1%	397	179	△ 217	△54.8%	△51.0%	3.8%	1.7%
USD/円	130.59	140.51		+ 7.6%		130.59	140.51		+ 7.6%			
EUR/円	137.71	151.98		+ 10.4%		137.71	151.98		+ 10.4%			

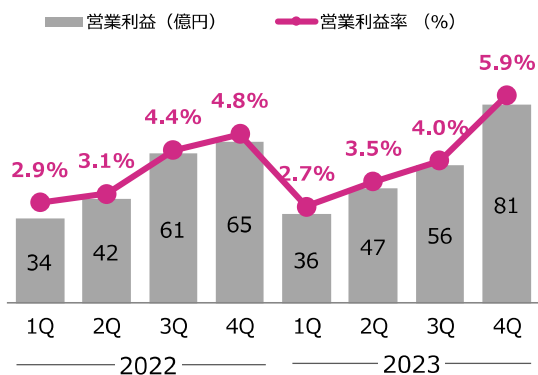
パッケージング&グラフィック

売上高 ・ 物価上昇の影響により消費財の需要が低調となり出荷数量が減少した

営業利益 ・ 日本では遅れていたコスト増加分の販売価格への転嫁が進み、増益
 ・ 海外では原料価格が下落局面にあるなか、販売価格を維持したことにより、増益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2022	2023	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022	2023	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022	2023
パッケージング&グラフィック	5,330	5,419	89	+ 1.7%	△1.9%	203	220	16	+ 8.1%	+ 11.4%	3.8%	4.1%
日本	1,277	1,240	△ 37	△2.9%	△2.9%	42	46	4	+ 9.0%	+ 9.0%	3.3%	3.7%
米州・欧州	3,374	3,490	116	+ 3.4%	△1.5%	127	131	4	+ 3.4%	+ 9.5%	3.8%	3.8%
アジア他	841	825	△ 16	△2.0%	△5.5%	34	42	7	+ 21.7%	+ 19.0%	4.1%	5.1%
連結調整	△ 162	△ 135	27	-	-	△ 0	1	1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品名	増減比	説明
パッケージ用インキ*	△1%	物価上昇の影響を受け消費財の需要が低調となり、中国を除く各地域で出荷数量が減少した。価格対応に努め、売上高は前年並みとなった
出版用インキ*	△5%	日本では価格対応に努め増収、米州や欧州とアジアでは減収となった
ジェットインキ	+ 7%	海外顧客の需要低迷により出荷数量は減少したが、円安による換算影響により増収
ポリスチレン	△11%	食品価格の値上がりにより食品包装用の需要が減少し、減収
多層フィルム	+ 4%	食品価格の値上がりにより食品包装用の需要が減少したが、価格改定による単価上昇により増収

*現地通貨ベース増減比

カラー&ディスプレイ

売上高

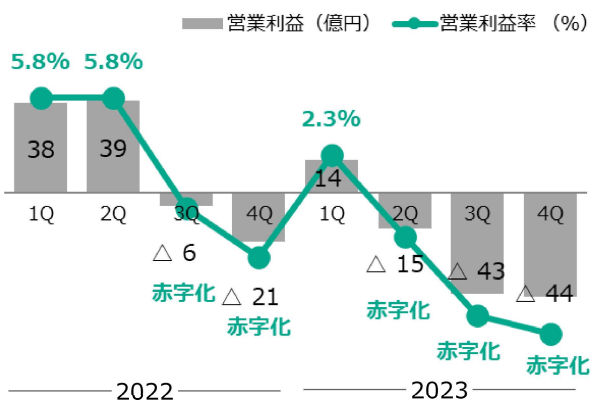
- 主要市場である欧州の景気停滞と米国での物価上昇の影響などにより顔料製品の需要が減少したこと、顧客による在庫調整の動きが続いたことから、塗料用顔料やプラスチック用顔料を中心に出荷数量が減少し減収となった

営業利益

- 当社の在庫削減のため米国と欧州の一部生産拠点を一時的に稼働停止したことにより、大幅な減益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2022	2023	増減	増減比	現地通貨ベース増減比	2022	2023	増減	増減比	現地通貨ベース増減比	2022	2023
カラー&ディスプレイ	2,482	2,273	△ 209	△8.4%	△14.1%	51	△ 89	△ 140	赤字化	赤字化	2.1%	-
日本	347	320	△ 27	△7.8%	△7.8%	47	41	△ 6	△13.2%	△13.2%	13.5%	12.8%
海外	2,271	2,095	△ 177	△7.8%	△14.2%	3	△ 130	△ 133	赤字化	赤字化	0.1%	-
連結調整	△ 137	△ 142	△ 6	-	-	1	0	△ 1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

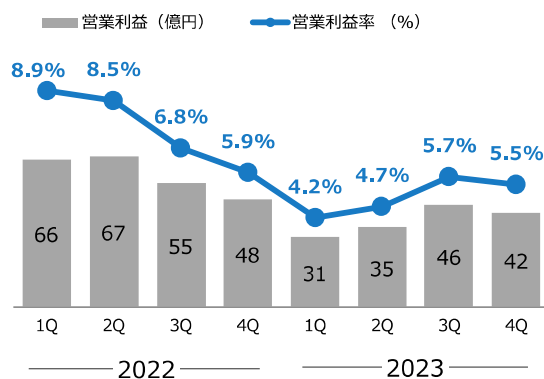
製品	増減比	説明
顔料 塗料用	+ 7%	景気停滞による需要減少が見られ、出荷数量が落ち込んだが円安による為替換算影響により増収
プラスチック用	+ 8%	景気停滞による需要減少が見られ、出荷数量が落ち込んだが円安による為替換算影響により増収
インキ用	△7%	景気停滞による需要減少が見られ、出荷数量が落ち込んだ
化粧品用	+ 20%	米国や欧州などでは景況感の悪化により伸び悩んだが、アジアでは需要が回復し堅調に推移した
ディスプレイ用	+ 27%	パネルの在庫調整後、出荷数量が回復し増収
スペシャリティ用	+ 4%	農業向けの在庫調整に加え、建築向けは欧州で出荷数量が減少したが、為替換算影響により増収
ヘルスケア食品	△7%	欧米の景気減速により需要が減少した

ファンクショナルプロダクツ

- 売上高**
 - 自動車生産の回復にともなって関連製品の出荷数量に回復が見られた。半導体を主用途とするエポキシ樹脂は、市況に底打ちの兆しが見られたが、本格的な回復には時間を要する見通し
- 営業利益**
 - ほとんどの品目で出荷数量の減少が底打ちし収益性は回復しつつあるが、回復スピードは緩やか。高付加価値製品の出荷が低調に推移し、大幅な減益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2022	2023	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022	2023	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022	2023
ファンクショナルプロダクツ	3,154	3,059	△ 95	△3.0%	△5.0%	236	154	△ 82	△34.6%	△36.4%	7.5%	5.0%
日本	2,169	2,029	△ 140	△6.5%	△6.5%	147	70	△ 77	△52.7%	△52.7%	6.8%	3.4%
海外	1,288	1,302	14	+ 1.1%	△3.8%	89	85	△ 5	△5.1%	△10.9%	6.9%	6.5%
連結調整	△ 303	△ 272	31	-	-	△ 0	0	0	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品名	増減比
エポキシ樹脂	△14%
ウレタン樹脂	△7%
アクリル樹脂*	+ 30%
水性樹脂*	+ 3%
ポリエステル樹脂*	+ 7%
UV硬化型樹脂	+ 6%

製品名	増減比
PPSコンパウンド	+ 9%
工業用テープ	+ 5%
中空糸膜モジュール	+ 9%

自動車用途では、アクリル樹脂、水性樹脂、PPSコンパウンド等の関連製品で下期以降は緩やかな回復が見られた。エポキシ樹脂は、サーバーや基地局向けの用途でスポット需要があったものの、本格的な回復は2024年7-9月期以降となる見通し

* 2022年7月に買収した中国のコーティング用樹脂メーカー「Guangdong DIC TOD Resins Co., Ltd.」の売上が加わり増収

2024年度：通期の業績見通し

(億円)	2023	2024 見通し	増減比
売上高	10,387	11,000	+ 5.9%
営業利益	179	300	+ 67.2%
営業利益率	1.7%	2.7%	-
経常利益	92	250	+ 171.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	△399	100	黒字化
1株当たり純利益 (円)	△421.06	105.64	-
EBITDA*1	308	820	+ 166.0%
設備投資・投融資	733	631	△13.9%
減価償却費・のれん償却額	531	539	+ 1.5%
平均レート			
USD/円	140.51	145.00	+ 3.2%
EUR/円	151.98	156.60	+ 3.0%

*1 EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益 + 法人税等合計 + 支払利息 - 受取利息 + 減価償却費 + のれん償却額

	2023	2024 見通し
ROIC*2	1.5%	2.6%
ネットD/Eレシオ *3	1.21倍	1.13倍
年間配当/株 (円)	80.0	100.0
配当性向	-	94.7%

*2 ROIC：営業利益 × (1 - 実効税率28%) / (ネット有利子負債 + 純資産)

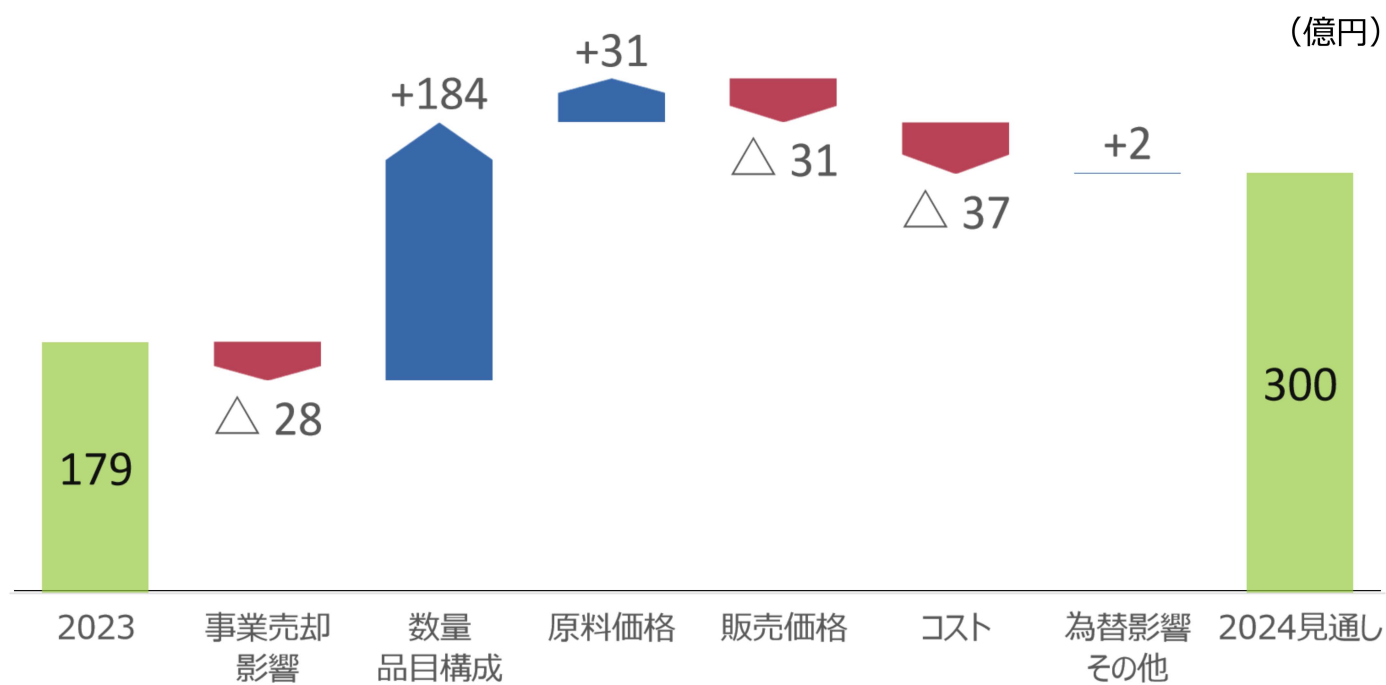
*3 ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債 / 自己資本

2024年度：上期の業績見通し

(億円)		2023 2Q	2024 2Q見通し	増減比
売上高		5,153	5,400	+ 4.8%
営業利益		100	150	+ 50.6%
営業利益率		1.9%	2.8%	—
経常利益		71	120	+ 68.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益		10	△ 60	赤字化
1株当たり純利益 (円)		10.53	△ 63.39	—
平均レート	USD/円	135.88	145.00	+ 6.7%
	EUR/円	146.91	156.60	+ 6.6%

2024年度：営業利益増減要因

- 顧客の在庫調整が完了したため、顔料の出荷数量の回復を見込む
- 電気・電子やディスプレイを中心とするデジタル分野の製品の本格的な回復は7-9月期以降の見通し
- 前提となる原油価格（WTI）は、75ドル近辺を想定



2024年度：通期のセグメント別業績見通し

(億円)	売上高				営業利益				営業利益率	
	2023	2024 見通し	増減	増減比	2023	2024 見通し	増減	増減比	2023	2024 見通し
パッケージング&グラフィック	5,419	5,779	359	+ 6.6%	220	225	6	+ 2.6%	4.1%	3.9%
日本	1,240	1,301	62	+ 5.0%	46	49	3	+ 6.3%	3.7%	3.8%
米州・欧州	3,490	3,711	221	+ 6.3%	131	127	△ 4	△ 3.2%	3.8%	3.4%
アジア他	825	909	84	+ 10.1%	42	49	8	+ 18.2%	5.1%	5.4%
連結調整	△ 135	△ 142	△ 7	-	1	0	△ 1	-	-	-
カラー&ディスプレイ	2,273	2,752	480	+ 21.1%	△ 89	40	128	黒字化	-	1.4%
日本	320	375	55	+ 17.1%	41	52	11	+ 27.2%	12.8%	13.9%
海外	2,095	2,545	451	+ 21.5%	△ 130	△ 12	117	赤字減	-	-
連結調整	△ 142	△ 168	△ 26	-	0	0	△ 0	-	-	-
ファンクショナルプロダクト	3,059	2,922	△ 137	△ 4.5%	154	156	1	+ 0.8%	5.0%	5.3%
日本	2,029	1,778	△ 251	△ 12.4%	70	68	△ 2	△ 2.9%	3.4%	3.8%
海外	1,302	1,419	117	+ 9.0%	85	88	3	+ 3.9%	6.5%	6.2%
連結調整	△ 272	△ 275	△ 3	-	0	0	△ 0	-	-	-
その他、全社・消去	△ 364	△ 454	△ 90	-	△ 106	△ 121	△ 15	-	-	-
連結合計	10,387	11,000	613	+ 5.9%	179	300	121	+ 67.2%	1.7%	2.7%
USD/円	140.51	145.00		+ 3.2%	140.51	145.00		+ 3.2%		
EUR/円	151.98	156.60		+ 3.0%	151.98	156.60		+ 3.0%		

主なトピックス (2023年11月～2024年2月)

ニュースリリース
<https://www.dic-global.com/ja/news/2024/> 

- 11月 中国・南通市において新インキ工場の建設を開始
 - ・ 中国での競争力強化と南通市政府が進める揚子江の環境保全を見据え、既存工場の移転を実施
- 12月 「D I Cグループの生物多様性に関する方針」を策定
- 12月 すべてのステークホルダーの人権を尊重するため「DICグループの人権に関する方針」を改定
- 12月 世界的なESG投資指標「Dow Jones Sustainability Indices Asia Pacific」(DJSI AP) の構成銘柄に9年連続で採用
- 12月 世界初、藻類油タイプの高性能硫黄系極圧添加剤「DAILUBE™ KS-519」を開発
- 12月 サンケミカル社、化粧品・パーソナルケア用途に天然色素SunPURO Naturalsの新製品を2つ発表
- 1月 めっき可能なPPSコンパウンド「DIC.PPS MP-6060 BLACK」を開発
- 1月 サンケミカル社の顔料製品がECO PASSPORT認証を取得 (OEKO TEX®)
- 1月 PFASフリーと高性能を両立した自動車 (EV) 向け潤滑油用消泡剤を開発

事業セグメントと主要製品

2023年度実績数値

提供価値	パッケージング & グラフィック	カラー & ディスプレイ	ファンクショナルプロダクト
	売上高比率 売上高 営業利益 営業利益率	売上高比率 売上高 営業利益 営業利益率	売上高比率 売上高 営業利益 営業利益率
	<p>5,419億円 220億円 4.1%</p>	<p>2,273億円 △89億円 -</p>	<p>3,059億円 154億円 5.0%</p>
	包装材料を通じて社会や暮らしに「安全・安心」を提供する	表示材料を通じて社会や暮らしに「彩り」を提供する	機能材料を通じて社会や暮らしに「快適」を提供する
主要製品	<p>パッケージ用インキ</p> <p>フィルム インキ 接着剤 フィルム</p> <p>包装材料 ←ポリスチレン ↓多層フィルム</p> <p>接着剤</p>	<p>ディスプレイ用顔料</p> <p>化粧品用顔料</p> <p>スペシャリティ用顔料</p> <p>農業用途 建材用途</p> <p>天然系色素</p>	<p>◆電気・電子やディスプレイを中心とするデジタル分野◆</p> <p>UV硬化型樹脂</p> <p>中空糸膜モジュール</p> <p>工業用テープ</p> <p>エポキシ樹脂</p> <p>◆モビリティ（自動車など）を中心とする工業分野◆</p> <p>水性樹脂 アクリル樹脂</p> <p>ウレタン樹脂 ポリエステル樹脂</p> <p>PPSコンパウンド</p>
	<p>ジェットインキ</p> <p>屋外看板用途</p> <p>バナー用途</p>		

セグメント別四半期業績推移 (参考)

(億円)	売上高								営業利益							
	2022 1Q	2022 2Q	2022 3Q	2022 4Q	2023 1Q	2023 2Q	2023 3Q	2023 4Q	2022 1Q	2022 2Q	2022 3Q	2022 4Q	2023 1Q	2023 2Q	2023 3Q	2023 4Q
パッケージング&グラフィック	1,209	1,366	1,399	1,357	1,315	1,350	1,384	1,369	34	42	61	65	36	47	56	81
日本	298	328	328	322	304	311	303	322	8	15	12	8	5	12	12	17
米州・欧州	753	868	891	862	862	873	891	864	21	23	39	44	26	29	27	49
アジア他	195	213	219	215	190	199	219	217	6	8	8	12	7	7	14	14
連結調整	△ 37	△ 44	△ 39	△ 42	△ 40	△ 33	△ 29	△ 33	0	△ 3	2	1	△ 1	△ 1	2	1
カラー&ディスプレイ	662	676	614	530	605	574	577	517	38	39	△ 6	△ 21	14	△ 15	△ 43	△ 44
日本	91	102	79	75	81	83	79	77	15	21	5	6	10	14	10	7
海外	610	613	569	480	555	533	536	471	24	17	△ 11	△ 27	4	△ 29	△ 53	△ 51
連結調整	△ 38	△ 38	△ 34	△ 26	△ 31	△ 42	△ 38	△ 31	△ 1	1	0	0	0	0	△ 0	0
ファンクショナルプロダクツ	742	791	813	809	734	759	794	772	66	67	55	48	31	35	46	42
日本	520	556	538	555	500	508	506	515	43	46	33	24	11	13	21	24
海外	295	317	352	324	298	319	357	329	23	22	22	23	19	21	26	19
連結調整	△ 73	△ 82	△ 78	△ 70	△ 64	△ 68	△ 69	△ 72	0	△ 1	0	1	0	1	△ 1	△ 0
その他、全社・消去	△ 103	△ 128	△ 88	△ 105	△ 102	△ 83	△ 92	△ 87	△ 21	△ 27	△ 22	△ 24	△ 21	△ 27	△ 27	△ 31
連結合計	2,510	2,705	2,737	2,590	2,552	2,601	2,663	2,571	117	122	89	68	60	40	32	48

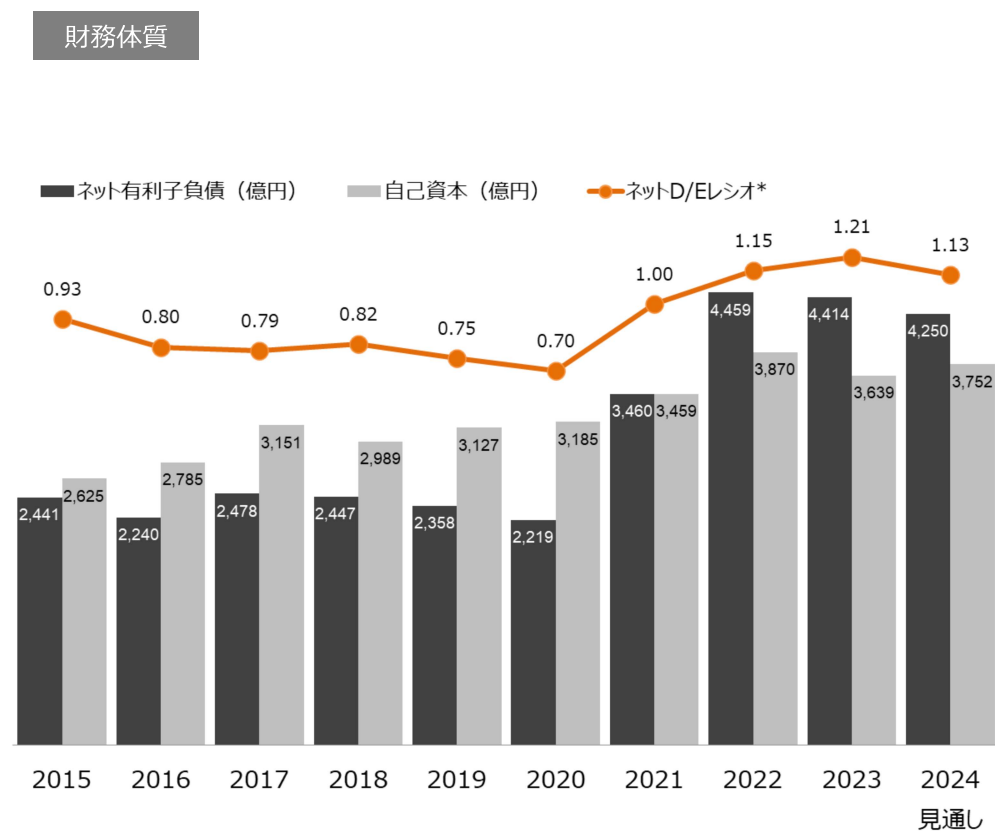
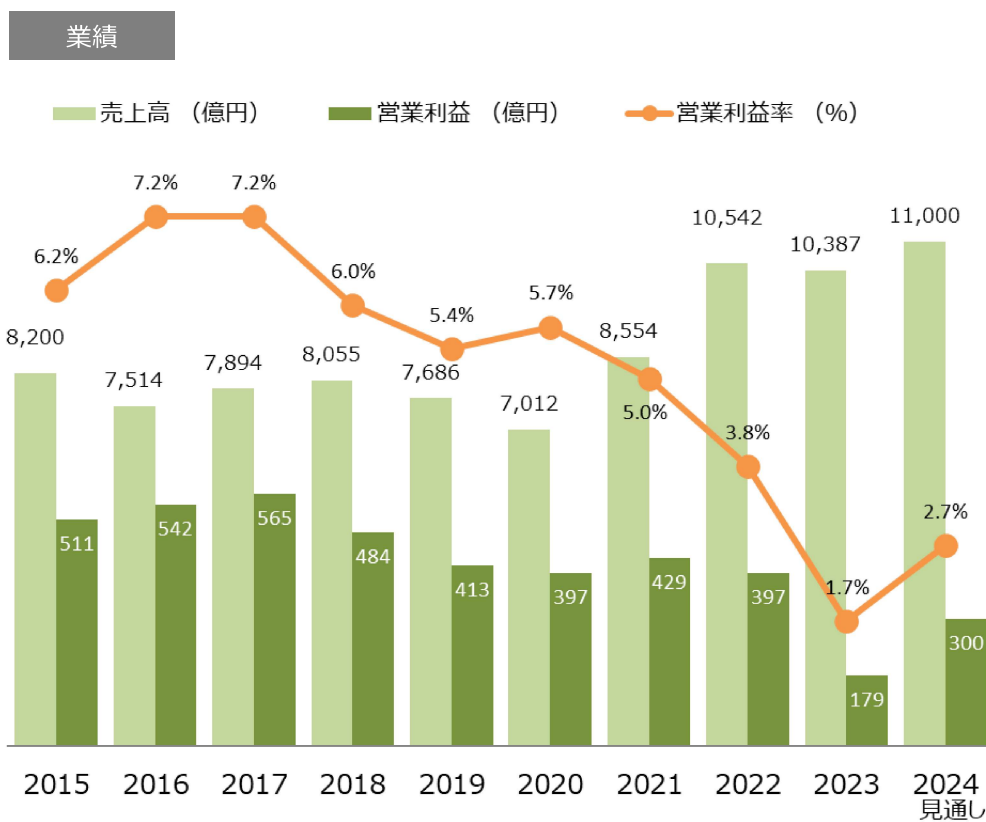
連結貸借対照表（参考）

(億円)	2022 期末	2023 期末	増 減
流動資産	6,600	6,202	△ 398
有形固定資産	3,535	3,739	204
無形固定資産	788	689	△ 98
投資その他の資産	1,694	1,819	125
資産合計	12,616	12,449	△ 167
流動負債	3,899	3,487	△ 411
固定負債	4,507	4,969	462
負債合計	8,405	8,456	51
株主資本	4,118	3,625	△ 493
その他の包括利益累計額 (為替換算調整勘定)	△ 248 (△ 173)	14 (126)	262 (298)
非支配株主持分	341	353	12
純資産合計	4,211	3,993	△ 218
負債純資産合計	12,616	12,449	△ 167
有利子負債残高	5,093	5,290	196
現預金残高	634	875	242
ネット有利子負債	4,459	4,414	△ 45

連結キャッシュ・フロー計算書（参考）

(億円)	2022	2023	増 減
営業キャッシュ・フロー	79	891	812
投資キャッシュ・フロー	△ 732	△ 665	67
財務キャッシュ・フロー	839	△ 29	△ 869
現金及び現金同等物の期末残高	626	846	221
フリーキャッシュ・フロー	△ 652	226	879
運転資本の増減額	△ 520	671	1,191
設備投資・投融資	811	733	△ 78
減価償却費・のれん償却額	488	531	43

業績の推移 (参考)

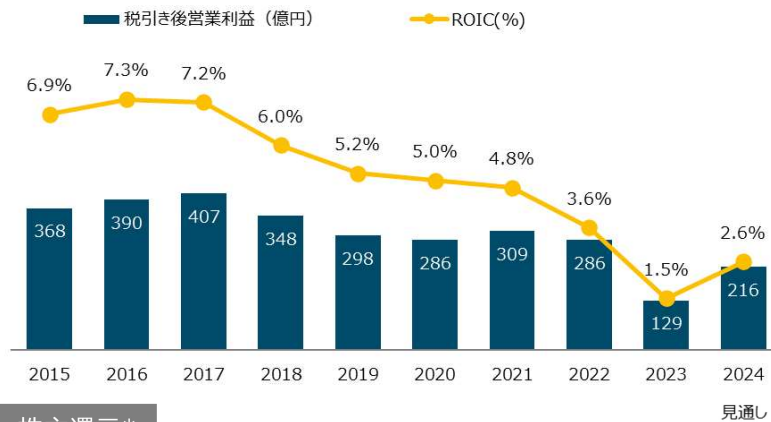


* ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債 / 自己資本

業績の推移 (参考)

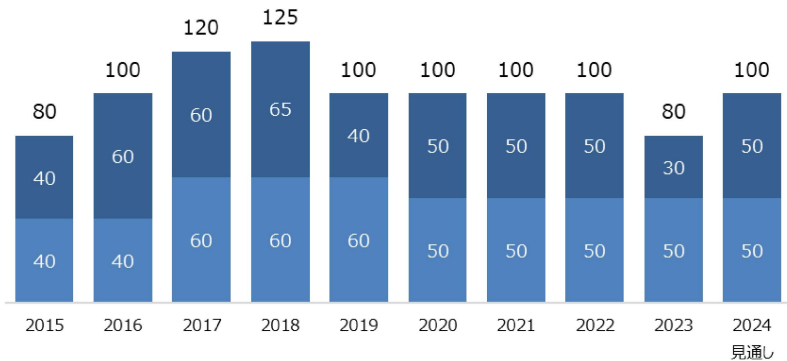
ROIC*

*ROIC：営業利益×(1-実効税率28%) / (ネット有利子負債+純資産)



株主還元*

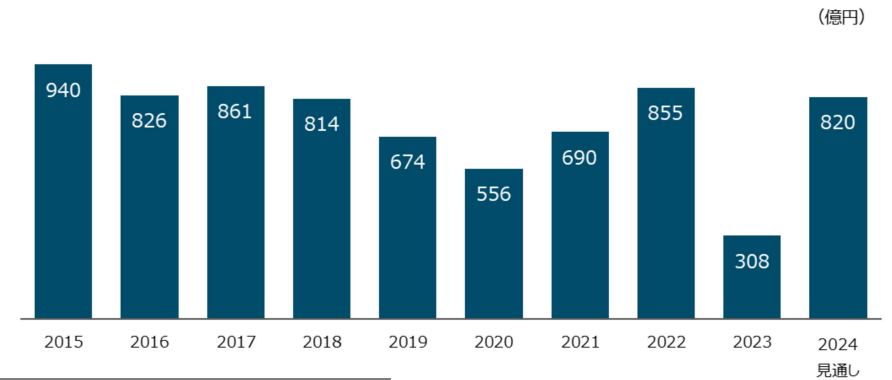
■ 中間 (円) ■ 期末 (円)



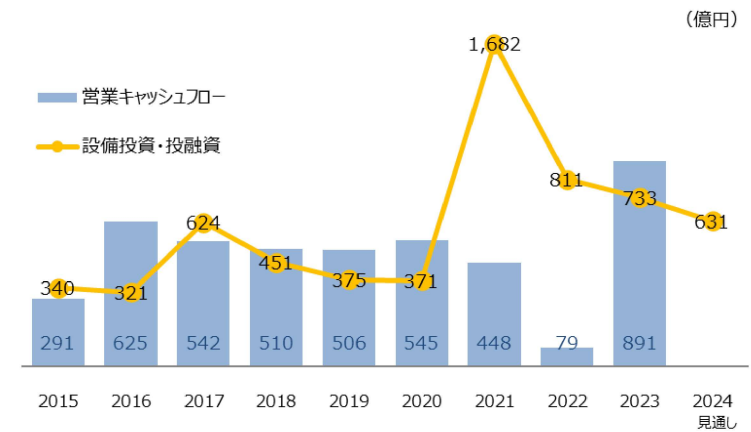
配当性向 20.5% 27.3% 29.4% 36.9% 40.3% 71.5% 216.8% 53.7% - 94.7%

EBITDA*

*EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益+法人税等合計+支払利息-受取利息+減価償却費+のれん償却額



設備投資・投融資・営業キャッシュフロー



* 株式併合の影響を調整しています

＜予想に関する注意事項＞

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。
業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、
実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますこと
をご承知おきください。

当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、
当社は責任を負うものではありません。



Color & Comfort



DIC Corporation